

お知らせ

当社ファンドの基準価額下落について

HSBC投信株式会社

2020年4月6日

当社ファンドの2020年3月31日時点の基準価額下落に関して、お知らせ致します。

基準価額の下落要因（市況動向）

- ▶ 当社の新興国およびエネルギー関連ファンドの基準価額が大幅に下落しています。3月31日時点では、1ヶ月および3ヶ月の騰落率がいずれも大幅なマイナスとなっております。特に3月に入ってから、基準価額の下落が加速しました。各ファンドとも株式要因、為替要因がいずれもマイナスに寄与しました。ブラジルでは為替の下落と債券利回りの上昇（価格は下落）により、ブラジル債券ファンドの基準価額も下落しました。
- ▶ 世界の株式市場は、2月中旬以降、急落しています。新型コロナウイルスの感染拡大と世界経済への影響を巡る懸念が、投資家のリスク回避志向を高め、株価を押し下げる要因となっています。各国が感染拡大防止対策として海外渡航、自宅からの外出、食品関連など一部を除く営業活動、人々が集まるイベントなどの禁止や制限措置を打ち出しており、これらにより景気が後退することへの懸念が高まっています。
- ▶ この期間、原油価格も急落していますが、これも世界のエネルギー関連株、ロシアやメキシコなど産油国の株式市場の下落要因となっています。3月6日にはOPECプラスによる協調減産交渉が決裂し、サウジアラビアは増産に転じる方針を打ち出しました。こうして供給が増加する一方で、新型コロナウイルスの影響により世界経済の減速が石油需要見通しを悪化させ、需給バランスの崩れから原油価格が下落しています。
- ▶ また、為替の動向（円高/各現地通貨安）もファンドの基準価額の下落要因となっています。特に3月以降は、投資家の間でリスクに対する警戒感が広がる中、ブラジル、ロシア、インド、メキシコを含む新興国の通貨が全般的に下落しています。

今後の相場見通し

- ▶ 世界経済は新型コロナウイルスの影響から、景気後退に入る可能性が高く、世界の株式市場は、引き続き不安定な展開を続けることが見込まれます。
- ▶ しかしながら、欧米をはじめ主要国は、新型コロナウイルス感染の影響を抑えるべく、大規模な景気対策を次々と打ち出しています。
- ▶ 時期を明らかにすることは難しいですが、新型コロナウイルスの感染拡大が峠を越え、収束に向かう期待が広がれば、市場心理は大きく好転し、世界の株式市場は回復に向かうと見込まれます。各国の大規模な景気刺激策、各国の中央銀行が供給する潤沢な流動性、ゼロ金利政策、繰延需要（足元の抑えられた需要が、将来に出てくること）の蓄積などから、ひとたび環境が好転すれば、これは力強い世界的な景気回復をもたらすと考えられます。
- ▶ 当社では、足元の不安定な局面において、リスク資産にたいしては「中立」的な見方を維持しています。しかし、大幅かつ急速な反発を予想していることから、弱気のポジションは回避しています。



HSBC
Global Asset
Management

当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

お知らせ

当社ファンドの基準価額下落について

HSBC投信株式会社

2020年4月6日

基準価額および期間別騰落率（2020年3月31日時点）

ファンド名	基準価額 (円)	1ヶ月騰落率 (%)	3ヶ月騰落率 (%)
HSBCブラジル債券オープン（毎月決算型）	12,274	▲15.18%	▲22.15%
HSBCブラジル債券オープン（1年決算型）	9,186	▲15.31%	▲22.34%
HSBCアジア・プラス（3ヶ月決算型）	7,590	▲22.29%	▲27.65%
HSBCアジア・プラス	7,278	▲22.36%	▲27.73%
HSBC世界資源エネルギーオープン	6,836	▲19.83%	▲28.03%
HSBCニューフロンティア株式オープン	7,569	▲28.04%	▲29.24%
HSBCインド・インフラ株式オープン	3,799	▲34.98%	▲36.42%
HSBCロシアオープン	5,857	▲31.42%	▲36.76%
HSBC BRICsオープン	10,899	▲30.27%	▲37.00%
HSBC新BRICsファンド	9,916	▲30.27%	▲37.10%
HSBCインドオープン	11,855	▲35.36%	▲38.16%
HSBCインド株式ファンド（3ヶ月決算型）	5,240	▲35.97%	▲38.79%
HSBCメキシコ株式オープン	5,122	▲36.82%	▲41.84%
HSBCブラジル株式ファンド（3ヶ月決算型）	3,709	▲38.63%	▲50.99%
HSBCブラジルオープン	4,867	▲38.85%	▲51.28%

* 基準価額は信託報酬控除後のものです。

* 基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算しています。



東海東京証券株式会社
金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号
加入協会／日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



当資料の「留意点」については、巻末をご覧ください。

留意点

【当資料に関する留意点】

- ◆ 当資料は、HSBC投信株式会社（以下、当社）が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買、金融商品取引契約の締結に係わる推奨・勧誘を目的とするものではありません。
- ◆ 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- ◆ 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- ◆ 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

<個人投資家の皆さま>

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料 上限3.85%（税込）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬） 上限年2.20%（税込）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」等でご確認ください。

- ◆ 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。
- ◆ 費用の料率につきましては、HSBC投信株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。
- ◆ 投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

加入協会 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会



ホームページ

www.assetmanagement.hsbc.co.jp



電話番号 03-3548-5690

（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）